

巻機山山行報告

【山行日】 2014年 7月 6(日) 曇り時々晴れ
【集 合】 岩舟町役場駐車場 AM 4:00
【費 用】 マイカー1台 : 3,800円
【メンバー】 CL:鈴木、大西、島田、関、渡辺
【コースタイム】岩舟町役場 P4:00=桜坂 P6:20~焼松 7:35
~前巻機山 9:40~避難小屋 10:00~御機屋 10:50~1967
m地点 11:00~御機屋 11:20/11:55~避難小屋 12:30~
前巻機山 12:50~焼松 14:30~桜坂 P15:40/15:50=岩舟
町役場 P17:45



今週も天気ははっきりせず、前日の夜の天気予報で決行することに決めた。関越トンネルを抜けて青空を期待したが、空は期待を裏切り鉛色の空だった。桜坂の駐車場に着いて驚いた。駐車場は綺麗に舗装されており、奥の駐車場、真ん中のトイレがある駐車場、その手前にも駐車場があり以前と全く違って整備されていた。真ん中のトイレがある駐車場に入ると一つだけ空きスペースがあったのでそこに駐車する。いつものようにトイレを済ませストレッチを入念にして出発する。橋を渡り奥の駐車場を通り、林道を



進むとすぐに井戸尾根コース登山口の標識があり登山道へ入る。広葉樹で覆われたじめじめした登山道をゆるやかに登ると四合目。この先は傾斜がきつくなり、赤土の滑りやすい登山道を進むと五合目の焼松に着く。焼松は小さな台地状で、谷側の展望が開けている。六合目を過ぎると樹林帯の急登となり、赤土の登山道は前日の雨で滑りやすく慎重に登る。やがて傾斜が緩くなり、前巻機山の広い斜面を望む

七合目に出る。女性たちは虫除けの網をかぶり完全武装。顔が見えない分若返り美人に見える。ここからは笹とナナカマドの灌木帯となり、急斜面をジグザグに登る。

振り返ると上越国境の山々が後方に広がり、頑張ると傾斜が緩くなり前巻機山に着く。正面に大きく巻機山がガスの間に見え隠れし、ガスが晴れると残雪を抱いた巻機山と割引岳の絶景が広がる。前巻機山からは傾斜湿原の中を木道で歩くようになり、コイワカガミやイワイチョウの花を見ながら下ると避難小屋に着く。避難小屋で女性たちはトイレを借りたが、O嬢が登山靴を脱ぐ際に足が攀ってしまった。しばらく様子を見たが、ゆっくり登れば大丈夫との事なので分かれて登り御機屋で待つ。御機屋に着いて驚いた。以前はかなり広く、斜面の階段状の部分も休憩場所として入れたが、現在は植生保護のためロープで入れないようにになっていた。御機屋の標識も無く、ここに巻機山山頂1,967mの標識が立っていた。

間もなく二人が登って来たので、ザックをデポし1,967m





の最高点へ向かう。眺望抜群の尾根歩きは巻機山のハイライト。ここが一番の見どころなので是非歩いて眺望を楽しんでほしい。御機屋まで戻り昼食タイム。焼きそばを焼いていると、においに誘われ見物人が現れ写真に収めて行く。山頂で景色を楽しみながらの昼食は最高の贅沢。

下山は来た道に戻る。避難小屋までは雪田や池塘を見ながら楽しく下る道。避難小屋で休憩を取ると、O嬢がまたつる姫に。馬油を塗って足をマッサージしていると、前に座っていた男性がシップ薬を持ってきてくれた。シップ薬を貼り前巻機山へゆっくり、ゆっくりペースで登って行く。

前巻機山からは下りになるので、攣る心配は無くなったが無理しないようゆっくりペースで降りる。難所は無いが、赤土の登山道は滑りやすいので、とにかく転ばないように慎重に下る。

登りと同じくらい時間をかけて無事に駐車場に着いた。皆さん大きな山を登り切った満足感で、バンザイ三唱。

Wさんは今回で95座目の登頂となり、満面の笑みで達成感に浸っていた。

